

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 1月27日

職員数

7 事業所名

第1キッズゆうあい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・常に子ども達の様子や不便な点等の話し合いをしている	・利用児童が過ごしやすい空間を、模様替えをしながらその都度実施した。
	2	職員の配置数は適切である	4	3		・フルタイムスタッフが1名ほしい(12月アンケート時点にて)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	・対応が出来るス	・車いす対応の利用児童を抱きかかえてでの階段が不便
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		・第3キッズの児童と交流の場でもあるので、事前の予定を立てて外出をしたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		・翌日に振り返りを行っています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	3		・記録不足な点(主に個別の)があるため、ミーティング時・専用の記録用紙に日々の事をまとめていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		・新規利用時にお伝えはしている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 月 日 職員数 5 事業所名 第2 ジュニアゆうあい (回答者4名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である		4		異動や体調不良でお休みされている状態なので、今現在は足りませんが、今後の配置により適正になると考えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		昨年、階段等に手すりはつけましたが、トイレ内の段差、また家の構造上の段差は残っています。トイレ内の手すりも含めて改装を希望しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4		学校によっては情報提供を拒まれる所もあります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		精神面での医療的ケアの必要な利用者様に対して、保護者様を通じて主治医のお話を情報提供していただいています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4		中高生の事業所の為、就学前の情報は頂いておりませんが、保護者様のお話や現在の担任の先生がご存じの範囲で必要な情報はご提供いただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		4		個人的に研修への参加、あったかスクラムへの参加はありますが、事業所としてはありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		ゆうあい全体としては、作品展などへの招待はありますが、事業所への招待はありません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				回答なし（現在アレルギーのある利用者様はおられない為）
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 月 日 職員数 事業所名 第3キッズゆうあい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		10人を超えると狭く感じる
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2		床にはマット、柱には保護材、玄関には段差をすくなくする工夫を行っています。外の階段は危ない
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		昨年度のアンケートの結果が把握できてないところがあった
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			無回答 1
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	月1回のアドバイザーの訪問	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	日誌の記入 月1回の子どもの様子の振り返り	無回答1
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		長期休みには平日に出来ないようなプログラムの工夫	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			無回答 1
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	1		無回答 1

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	どのように連携をとっていくのか、検討中	無回答2
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	小学生対象のため、特に行っていない	無回答1
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		今後の課題
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3		無回答2
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2		無回答1
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	毎年は出来ているが、コロナで出来ていない	無回答1
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	検討中	無回答1

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	もっと周知していきたい	無回答1
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		無回答1 事業所として どんな場合に身体拘束を行うか周知が必要
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		無回答1 保護者や医師との連携をより取っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 月 日 職員数 事業所名 第4 ジュニアゆうあい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	6	整理整頓などで工夫している	部屋の数が少ないです。体の大きい利用者が増えているので、10人を超えると厳しいです。
	2	職員の配置数は適切である	6	2		活動によって足りない時があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6	マットなど敷いて段差の解消	民家なので難しいです。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		職員が情報を共有しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		難波先生のアドバイスを月1で行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0		全体研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		より具体的なアセスメントシートを作っていきたいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		職員で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		マンネリ化しているようにみえて、定着に繋げることができている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		その日のスタッフで行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		次の日のミーティングみて行っている。 長期休みはその日に行うことができている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0		送迎時に先生よりその日様子を聞いています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3		対象の利用者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		中高生なのでないです。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0		支援会議等でお伝えしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		できる機会を作っていきたいです。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		保護者様からの情報をスタッフで共有しています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		送迎時や支援計画書見直しのときに行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		キッズ通信や、月間予定表をお渡ししています。
	35	個人情報に十分注意している	8	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		作品展を行っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		研修や避難訓練を行っています。より具体的に考えていきたいです。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		保護者様からの情報を頂いています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		